

令和2年度 評価計画及び自己評価

(計画 ・ 中間 ・ **最終**)

吉浦中学校区 校番 15 学校名 吉浦中学校

a 学校教育目標	かしこく やさしく たくましく (自利 利他 貢献)	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 (学校の使命) 夢の実現に向けた志を抱き自己を成長させていくとともに、自分を大切にし他を大切にし、地域や社会に貢献できる生徒を育成する。 〈ビジョン〉 (将来の学校像) 伝統を継承し、人々とふれあう中で地域と一体感をもち、郷土愛を育むことができる学校
----------	-------------------------------	----------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	確かな学力…基礎的・基本的な学力については定着が見られているが、30%未満の生徒の固定化が進んでいる。そのため、家庭学習・個別指導の充実を図る。 豊かな心…自己肯定感・自己指導能力については高い数値で維持されている。本年度は、加えて郷土のよさに気付き、郷土に貢献できる生徒を増やしていく。 働き方改革…教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整え、長時間勤務を削減するとともに生徒と向き合う時間を確保する。
------------------------------	--

育成すべき資質・能力	知識・技能 思考力・判断力・表現力 協働 郷土愛
------------	--------------------------

評価計画 (中期経営目標を設定してから 1 ・ ② ・ 3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	(9) 月			2 月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** (貴)	確かな学力 生徒が主体的に学習する授業づくりについて工夫改善を進め、学力を向上させる。	学力の向上を図る。 自ら考え表現する力を向上させる。	指導方法・教材を工夫するとともに、個別指導を継続的に実施していく。 教科等の本質に迫る「考える授業」を取り入れた授業づくりを展開し、生徒の主体的な思考を促す。	全国平均との比較 国語 平均以上 数学 平均以上 英語 平均以上 自分の考えを表現しようとする生徒の割合 学んだことを活用しようとする生徒の割合	各教科平均以上 80% 80%	国-3.9 数-4.3 英+0.4	94% 91% 100%	B B A	国-3.8 数-0.4 英-2.2	90% 98% 95%	B B B
★★ (貴)	豊かな心 道徳教育を充実させ、道徳的実践力を高める。	自尊感情、自己肯定感を向上させる。 協働できる力を向上させる。 地域のよさに気づかせ、郷土愛を育む。	あらゆる学校生活の場面において生徒の言動に対する肯定的評価を実施する。 特別活動、教育相談の充実を図る。 各教科や総合的な学習の時間、「特別の教科 道徳」等の教育活動を通して、郷土について理解を深め、その良さに気づかせる。	hyper-QUでの要支援生徒及び学校生活不満足群生徒の人数 周りの人と協力しながら自分の役割を学習や活動で果たしている生徒の割合 自分の郷土のよさに気づき、その郷土に貢献したいと答える生徒の割合	半減 80% 80%	— 88% 82%	— 100% 100%	— A A	2/6.5 6/15.5	31% 39%	D D
★ (貴)	働き方改革 教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整える。	生徒と向き合う時間を確保する。 長時間勤務の削減を図る。	会議時間の短縮を図る。学校行事の精選、実施内容・方法等の改善を図る。 週1回の定時退校を徹底する。部活動休養日の定着を図る。	児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合 時間外勤務が上限が月45時間、年360時間を超える教職員の月平均人数	80% 1人以下	100% 1.3人	100% 93%	A B	100% 3人 6人	100% 84% 68%	A B B

[k:評価]

A: 100 ≦ (目標達成) B: 80 ≦ (ほぼ達成) < 100

C: 60 ≦ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60